



# 令和3年度 山内図書館事業報告書

有隣堂グループ

2022年5月

## 目 次

1. 山内図書館の基本方針	2
(1) 山内図書館の概要	2
(2) 指定管理者	2
(3) 山内図書館のコンセプト	2
2. 5年間の達成目標（令和2年4月～令和7年3月）	3
3. 令和3年度の事業報告	3
(1) 運営目標と振り返り	3
(2) 具体的な取り組み	5
ア 利用者サービス	5
イ 業務運営	8
ウ 職員育成	10
4. 決算	13
令和3年度「横浜市山内図書館」収支決算書	
別紙1. 令和3年度山内図書館自主企画事業実施事業月別一覧	
別紙2. 令和3年度山内図書館学校連携活動報告	
別紙3. 令和3年度山内図書館建築・設備保守管理実施表	

## 1. 山内図書館の基本方針

### (1) 山内図書館の概要

施設名	横浜市山内図書館
所在地	横浜市青葉区あざみ野二丁目3番地の2
構造規模	鉄筋コンクリート造3階建 (図書館部分：2階) 地区センター併設(全体 4,433.28 m <sup>2</sup> )
延床面積	2,147.22 m <sup>2</sup>
付帯	駐車場(施設全体で12台、業務用3台、 身障者用1台)



山内図書館は、昭和52年に横浜市内で2番目の地域館として開館しました。駅から徒歩3分の場所にあり、アクセスのよい便利な図書館です。蔵書数は中央図書館に次いで市内2番目(188,130冊 典拠:『横浜市の図書館 2021』)と規模の大きい図書館です。平成22年度から有隣堂グループを指定管理者とする管理運営が行われており、令和2年度から令和6年度の期間も引き続き有隣堂グループによる指定管理運営を行います。

### (2) 指定管理者

名称	有隣堂グループ
所在地	横浜市戸塚区品濃町 881-16
代表団体	株式会社 有隣堂 代表取締役社長 松信健太郎
構成団体	三洋装備株式会社 代表取締役社長 菅生龍太郎
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日

指定管理者有隣堂グループは、「本」を専門とする株式会社有隣堂と「施設維持管理」を専門とする三洋装備株式会社で構成しています。有隣堂は、貸出返却・登録・レファレンスなどのカウンター業務をはじめ、資料の管理、予約業務、自主企画事業などの図書館運営全般を行っています。三洋装備は、山内地区センターとの共用部分を含む建物管理や日々の清掃業務および図書取次サービスを担当しています。

### (3) 山内図書館のコンセプト

## 「地域」の力を「地域」に還元！

### 山内図書館は青葉区民のプラットフォーム

「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」(平成26年施行)のもとで、図書館に「地域連携」という新たな課題が示された第二期では、積極的に地域との連携を図ってきました。第三期ではさらに連携を進め、地域コミュニティ創造の担い手として、民間ノウハウ・民間能力を存分に発揮し、インパクトのある事業の創出や、チャレンジ感溢れる取り組みを実践し、地域に根ざしたサービスの拡充に努めます。

## 2. 5年間の達成目標（令和2年4月～令和7年3月）

指定管理の実施により達成すべき目標は以下の3つです。

- (1) 地域の情報拠点機能を強化し、地域の要望や要請に応えられる蔵書構築に努め、暮らしに役立つ情報の収集・提供を行います。
- (2) 司書が読書活動コーディネーターとして地域との連携を進め、地域の読書活動を推進します。
- (3) 快適で楽しい読書環境づくりを促進します。

## 3. 令和3年度の事業報告

### (1) 運営目標と振り返り

横浜市立図書館において毎年策定される「横浜市立図書館の目標」および「年間資料収集計画」の令和3年度版に基づき、サービスを展開しました。

令和3年度も2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底した上で図書館を運営しました。4月は通常の開館時間でスタートすることができましたが、4月20日にはまん延防止等重点措置が発令となり、開館時間を短縮しての運営となりました。火曜日～金曜日は通常20時30分閉館のところ20時閉館とし、この短縮は9月末日まで続けました。

年度前半は、おはなし会をはじめとする定例の事業を中心に実施しました。全て申込制とし、人数を調整しながら消毒や換気に気を配りながら実施しました（別紙1参照）。8月20日から9月28日までは緊急事態宣言下となり、この間の自主企画事業は、ほとんど中止としました。10月から、事業を再スタートさせましたが、学校連携事業は申し込みが集中しましたが、申込があった事業はすべて実施しました。年が明けて1月21日～3月21日はまん延防止等重点措置が発令されました。この期間は、感染対策を徹底させた上で、事業を実施しました。

	令和3年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利用者サービス	(ア) 区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携した地域の読書活動	・地区センター祭り等への事業協力	2回	0回
		・乳幼児健診に出向いてのおはなし会開催	6回	2回
		・修理ボランティアに活動の場を提供	50回	63回
		・読み聞かせボランティアに活動の場を提供	40回	46回
		・読み聞かせボランティアの養成講座開催	1回	1回
		・学校連携事業		別紙2参照
	(イ) 読書活動推進のための区内読書活動拠点のネットワーク構築	・読書関係団体交流会 (青葉区役所と共催)	1回	1回

	令和3年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利用者サービス	(ウ) 図書館環境の整備・改善	・照明のLED化 ・デジタルサイネージの導入	未交換部分 1台	一部施工 未設置
	(エ) 新型コロナウイルス感染症予防対策の実施	・トイレおよび給湯室の手洗いの自動水栓化 ・便座クリーナー用ディスペンサーの設置 ・自動消毒液スタンドの設置 ・アクリル板増設 ・消毒液、ビニール手袋、便座クリーナー等、消毒用品の補充	10カ所 9カ所 2台 9枚 適宜	10カ所 9カ所 未設置 49枚 適宜
	(オ) ICTの活用（オンライン配信）	・配信環境の整備（機器の整備） ・自主企画事業の中でオンライン配信向けのテーマについて会場と配信の2本立てで実施 ・利用者を対象にZoomの使い方学ぶ講座を開催	機器の整備 講座のオンライン配信 講座開催	機器の整備 1回 2回
	(カ) 情報収集と課題解決	・課題解決支援自主企画事業	6回	11回 別紙1参照
	(キ) 大人の倶楽部活動の起ち上げ	読書倶楽部の活動	6回	0回
	(ク) 障がい者支援を積極的に推進	・県立特別支援学校からの職業体験受け入れ ・対面朗読の実施 ・りんごの棚（障がい者向けの本、障がい者を理解するための本を別置）の充実	2校 20回 20冊	2校 44回 35冊
	(ケ) 読書支援ツール「Life with Reading」やビブリオバトルの普及	・職業体験への導入 ・「Life with Reading」ワークショップの開催 あざみ野ブックカフェ 小学校 読書関係団体交流会 ・市民利用施設における「Life with Reading」ワークショップ開催支援 ・ホームページ〈学校支援〉のページに、小学生向けワークショップ開催方法を掲載	適宜 適宜 2回 掲載	3回 合計3回 1回 1回 1回 0回 掲載

	令和3年度運営目標	管理指標	目標値	実施状況
ア 利用者サービス	(コ) 幅広い情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ、ブログを活用した情報発信</li> <li>・SNSを活用した情報発信</li> <li>・青葉区役所戸籍課への図書館作成チラシ提供</li> <li>・図書館だよりの発行</li> </ul>	適宜更新  ツイッター 200回 (600枚) ×12回 4回	適宜更新  ツイッター 199回 (600枚) ×12回 4回
	(サ) 新規利用者の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の市(いち)「図書館 de マルシェ」を起ち上げる</li> </ul>	試行	3回
イ 業務運営	(ア) コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス研修</li> </ul>	1回	1回
	(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底と、安全・安心な図書館づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事件・事故を想定した危機対応研修</li> <li>・地区センターとの合同防災訓練</li> </ul>	1回 2回	1回 2回
	(ウ) 防犯の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯カメラの運用</li> <li>・図書館スタッフ、設備管理スタッフによる巡回</li> </ul>	運用 1日8回	運用 1日8回以上
	(エ) 個人情報保護の考え方のスタッフ全員への周知徹底と適正管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護研修</li> <li>・個人情報内部監査</li> <li>・個人情報保護教育</li> </ul>	1回 1回 2回	1回 1回 2回
ウ 職員育成	(ア) スタッフへの教育・研修の実施による能力向上・意欲の維持向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商用データベース研修</li> <li>・接遇研修</li> <li>・人権研修</li> <li>・アルバイト向け修理講座</li> </ul>	1回 1回 1回 1回	0回 1回 1回 1回
エ 財務	(ア) 予算内の経費執行と効率的な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山内堂の売り上げ(令和2年度の実績に基づき算出)</li> </ul>	8万円	14万円

## (2) 具体的な取り組み

### ア 利用者サービス

#### (ア) 区内の図書貸出施設や団体、ボランティア等と連携した地域の読書活動

- 青葉区役所、市民利用施設、市民ボランティアと協働で、令和2年度に策定した「第2次青葉区民読書活動推進目標」の達成に向けて読書推進活動を展開しました。青葉区こども家庭支援課と月1回「読書活動推進事務局会議」を開催し、青葉区における読書活動推進について話し合い、協働で読書活動を推進しました。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために市民利用施設の事業が縮小となり、例年参加している地区センター祭りなどは開催されませんでした。

- 1歳半の乳幼児健診の際に青葉区福祉保健センターに出向し、手遊びをおりませながら、おはなし会を開催しました。5、6、7月と10、11、12月の合計6回開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために感染症予防を徹底した上で実施をしました。
- 修理ボランティアの2グループに、活動の場を提供しました。2グループ合計で、山内図書館の本を年間63回集まって修理しました。また、小中学校の図書館で修理にあたっている学校司書やボランティアからの相談を受け、支援を行いました。
- 読み聞かせボランティアに活動の場を提供しました。山内図書館で開催する定例のおはなし会に年間46回参加しました。

#### (イ) 読書活動推進のための区内読書活動拠点のネットワーク構築

- 青葉区役所と共催による読書関係団体交流会を開催しました。2部構成とし、第1部は読書のコツや楽しみ方の共有を図る目的でLife with Reading（慶應義塾大学井庭崇研究室と株式会社有隣堂の共同開発ツール、「創造的読書」の考え方を言語化し、27個の言葉にまとめたカード）のワークショップを開催し、団体交流を促進しました。第2部は、絵本・紙芝居作家のやべみつのり氏を迎え、子どもとのふれあい、紙芝居との出会い、絵本、アジアの国々での紙芝居普及活動等について、お話しいただきました。

#### (ウ) 図書館環境の整備・改善

- 照明のLED化をすすめました。令和3年度は一般書エリアの設置を完了しました。
- デジタルサイネージは、設置を前提に調査をすすめましたが、サイネージの前に人が滞留する危険性が大きいと判断し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から導入を見送りました。

#### (エ) 新型コロナウイルス感染症予防対策の実施

- トイレと給湯室に設置している手洗い9カ所全てを自動水栓にしました。
- トイレ8カ所に便座クリーナーを設置しました。
- 自動で消毒液が出るスタンドの購入を検討しましたが、飛び散りや消費量、故障の頻度を考慮し、現行で設置しているプッシュ型を継続使用することにしました。
- 消毒液、手袋、便座クリーナー、キッチンペーパー等消毒用品を適切に在庫管理しました。
- 令和2年度に設置した座席の仕切り板が劣化してきたことから、アクリルの仕切り板に入れ替えました。また、仕切り版を増やしたことにより、一部利用制限していた座席を元の数に戻しました。

#### (オ) ICTの活用

- Zoomウェビナーを導入し、配信できる環境を整えました。
- オンライン会議や研修に参加できるように、マイク付きのヘッドセットを職員数分準備しました。
- Zoomミーティングを職員が輪番で主催し、職員会議を開催しました。職員全員がミーティングの参加方法だけでなく、主催するときのノウハウを学びました。
- 大型講演会は会場とオンライン配信の2本だてで企画しましたが、まん延防止等重点措置の発令時期であったことから、オンライン配信のみで実施しました。101名の方が参加しました。

## (カ) 市民の必要とする情報収集と課題解決支援

### 学校図書館司書・ボランティア向け

- 5月から6月にかけて、学校図書館の司書及びボランティアを対象に、「本の整理と修理の基本講座」を2回連続講座として開催しました。学校図書館の本の分類と配架、本の構造、修理の方法と道具の使い方を説明し、フィルムコーティングの実習も行いました。
- 10月から11月にかけて、小学校で本の修理活動をしている司書・ボランティアを対象に、「本の修理ステップアップ講座」を3回連続講座として開催しました。糸綴じの修理ができるよう、一折中綴じと折丁がさねの修理を実習形式で行いました。
- 6月に、小学校で読み聞かせの活動をしている司書・ボランティアを対象に、「小学校での読み聞かせ講座初級編」を2回連続講座として開催しました。読み聞かせに向く本の選び方や読み聞かせの基本の講義のあと、参加者による？読み聞かせを実践しました。
- 1月に、市内で小中学校における読み聞かせの活動をしている方を対象に、「読み聞かせステップアップ講座 科学絵本をこどもたちに」を開催しました。科学絵本に特化した読み聞かせの講座ということで、参加者の興味・関心度が高かったようです。
- 10月から11月にかけて、市内で活動している読み聞かせのボランティアを対象に、「わらべうた実践講座」を3回連続講座として開催しました。教文館ナルニア国から講師を招き、わらべうたの紹介と実践のほか、わらべうたの意義や絵本やおはなし会についての講義を開催しました。

### 利用者向け

- 8月に、小学4～6年生を対象に、「わくわく科学教室 タネと発芽」を開催しました。市販のハトのえさの中からタネを仕分ける実習のあと、発芽した芽を観察し、タネの講義を行いました。
- 11月に、中学生以上を対象に、「書きたい！人のショートショート講座」を開催しました。ショートショート作家の田丸雅智氏を迎え、氏が考案したワークシートを使用して、アイデア出しから完成まで体験できるようにしました。10代が多く参加したことが特徴的でした。
- 2月に「はじめての Zoom 体験講座」を2回連続講座として開催しました。参加者本人が所有する端末機器を使って、Zoomミーティングの参加方法とミーティングの主催方法を体験しました。1回目の受講のあと、かねてから参加したいと思っていたミーティングに参加することができたという声も聞かれました。
- 3月に「大人のための調べ方講座(中級) 読売新聞データベース『ヨミダス歴史館』の活用法」を開催しました。読売新聞社から講師を招き、山内図書館で契約している新聞データベース「ヨミダス歴史館」の概要と操作方法を学ぶ機会を提供しました。昨年度は37件だった「ヨミダス歴史館」の利用が令和3年度は66件に増えており、利用者のセルフケアの向上につながったと推察されます。
- あざみ野ブックカフェは年4回の開催を予定していましたが、9月は緊急事態宣言が発令されたため中止し、年間3回の開催となりました。6月はLife with Readingのワークショップを開催しました。11月は、『あまりに細かすぎる箱根駅伝』という雑誌を制作している会社の代表を招き、箱根駅伝の見どころ、取材秘話などをうかがいました。3月のあざみ野ブックカフェは「PMS、PMDDを知っていますか？」というタイトルで開催しました。青葉区にある医院の院長をお招きし、月経前症候群(PMS)、月経前不快気分障がい(PMDD)についてお話いただきました。身体の不調に困っていた方が、この講座があることを知り参加してよかったという声



も聞かれました。

#### (キ) 大人の倶楽部活動の起ち上げ

- 開催を予定していた時期が新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置下に重なったことから、令和3年度の起ち上げを、4年度に延期としました。

#### (ク) 障がい者支援

- 神奈川県立特別支援学校2校から職業体験を受け入れました。11月に支援学校の高校2年生の現場実習として4名(2日間)、12月に養護学校の高校1年生の社会体験学習として3名(3日間)、支援学校の高校1年生の社会体験学習として3名(2日間)を受け入れました。
- 神奈川県立特別支援学校2校の小学部の図書館見学を受け入れました。7月に養護学校の小学部児童9名、11月に支援学校の小学部児童9名、2月に支援学校の小学部児童9名が来館しました。山内図書館の司書がおはなしやわらべうたを実施した際は、車いすのままではおはなしを楽しめるように配置を工夫しました。医療的ケアが必要な児童が参加した回もあり、担当教諭と連絡を密にとりながら準備をすすめました。
- 令和元年度新設した「りんごの棚(障害者向けの本および障害者を理解するための本を集めて置いたコーナー)」の蔵書補強を行いました。やさしく書かれたLLブックや、障がいを理解するための本など35冊を新規購入しました。

#### (ケ) 読書支援ツール「Life with Reading」やビブリオバトルの学校への普及

- 読書のコツや楽しみを共有する読書支援ツール「Life with Reading」のワークショップを高校生のインターンシップ(8月)、学校教諭の社会体験(8月)、大学生の図書館実習(9月)の各プログラムに組み込みました。もともと読書が好きな人がそれぞれのプログラムに参加していることもあり、ワークショップは好評でした。読書について新しい発見があったという感想もあがっていました。
- あざみ野ブックカフェで6月に「Life with Reading」のワークショップを開催しました。
- 山内小学校が開催するCROSS EXPOというお祭りに参加しました。当初は対面でLife with Readingのワークショップを開催する予定でしたが、新型コロナ感染症の影響により、オンラインで開催し、6組の親子が参加してくれました。「子どもと一緒に本の楽しみかたについて話す機会が持てて良かった」、「今までにないテーマで子供と会話でき、新たな面を発見できたので良かった」という保護者からの感想が寄せられました。
- 1月の読書関係団体交流会でLife with Readingのワークショップを開催しました。
- 令和3年度に青葉区内の市民利用施設で、Life with Readingのワークショップの運営支援を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、各施設での事業が実施されませんでした。
- 山内図書館の「学校支援」ホームページ「お役立ち情報:本の楽しみかたカードの紹介」の中で、Life with Readingの開催を支援するツールをアップロードしました。ワークシートや進行スケジュール例などがダウンロードできるようにしました。

#### (コ) 幅広い情報発信

- 編集委員が企画編集して、図書館だよりを年4回発行しました。4回の特集内容は、「本と水濡れ」、「CDブック貸出開始」、「郷土カルタを楽しもう」、「青山美智子トークショー『本との出

会』を開催しました」となっています。

- ホームページ、ブログのほか、Facebook・ツイッターなどソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を用いて広報の拡充を図りました。ツイッターはチームで取り組み、199回発信しました。
- 地域のミニコミ誌への情報提供を定期的に行いました。
- 地域のコミュニティFMに出演して、山内図書館の事業やサービスについて広報しました。
- 図書館サービスのチラシを区役所から転入者に配布してもらい、新住民に広く図書館サービスを知らせてもらうよう努めました。

#### **(サ) 新規利用者の獲得**

- 図書館の利用者を広げることを目的として、地産地消の市(いち)「図書館 de マルシェ」の準備をすすめました。本格運営を前に、令和4年の1～3月に3回試行しました。利用者の反応もよく、新規利用者の獲得が見込まれることから、令和4年度から本格的に運営を開始します。

### **イ 業務運営**

#### **(ア) コンプライアンスの徹底と利用者満足度向上への取り組み**

- 職員・アルバイト全スタッフが、有隣堂のエシックスカードをもとに、企業行動指針を確認しました。また、コンプライアンス内部監査の実施により、法令遵守と倫理の徹底を図りました。
- ホームページで、「事業計画書」「事業報告書」「利用者フォーラム議事録」「セルフモニタリング評価書」「山内図書館の目標・振り返り」といった山内図書館の運営情報を公開しました。

#### **(イ) 危機管理、安全衛生管理の徹底と、安全・安心な図書館づくり**

- 「安全目安箱」を設置し、設備・備品等の不具合や、働く上での課題をスタッフから無記名で投書してもらうようにしました。
- 職員とアルバイトスタッフ(リーダー、サブリーダー)で月1回話し合いをもち、安全衛生を含めた課題を話し合い、解決につなげました。
- 併設の山内地区センターと合同で防災訓練を2回行いました。災害発生時に山内地区センターが帰宅困難者一時滞在施設として開設することから、6月に青葉区役所に講師を依頼し、帰宅困難者滞在施設の手順や留意点を教えてもらいました。3月には、青葉区消防署の指導によりAEDの取り扱いの訓練を実施しました。

#### **(ウ) 防犯の強化**

- 青葉警察署の警察官を講師に招き、危機管理研修をスタッフ全員で受講しました。
- 「横浜市山内図書館 防犯カメラ運用基準」に則り、図書館内の防犯カメラを運用しました。
- 施設管理のスタッフが図書館内を1日3回、図書館職員が1日5～7回巡回して防犯および安全管理に努めました。

#### **(エ) 個人情報保護の考え方のスタッフ全員への周知徹底と、個人情報の適正管理**

「横浜市個人情報の保護に関する条例」および「有隣堂個人情報保護方針」に基づき個人情報の収集・利用・管理について、適切に実施するよう努めました。

次に挙げる個人情報保護に関する教育、監査、点検を実施しました。

- ・ テスト(個人情報保護全社教育確認シート記入)の実施 年2回
- ・ 有隣堂プライバシーマネジメントシステム監査 年1回

#### (オ) その他

- 新型コロナウイルス感染症防止対策として、以下の取組を継続して行いました。
  - ・ 神奈川県 LINE コロナお知らせシステムに登録し、感染防止対策取組書を掲出
  - ・ 横浜市立図書館の感染予防対策および有隣堂「新型コロナウイルス感染及び感染疑い者発生時の対応マニュアル」に準拠
  - ・ 出入口にアルコール消毒液を設置
  - ・ 飛沫感染防止のために、カウンターにビニールの仕切りを設置
  - ・ 貸出カウンターに並ぶ際に密にならないように、並ぶ間隔を床に明示
  - ・ 閲覧席の間隔を開けて席数を制限し、仕切り板を設置
  - ・ 定期的に窓を開け、換気
  - ・ 図書除菌機の設置
  - ・ 利用が終わった閲覧席のアルコール消毒
  - ・ 閉館後に、利用者が多く触れている可能性のある場所を消毒
  - ・ 職員およびアルバイトスタッフの貸出・返却カウンターにおけるマスク・手袋着用を徹底
  - ・ 職員およびアルバイトスタッフの休憩時食事時の発語の禁止
  - ・ 利用者への、ポスター、放送によるマスク着用の呼び掛け
- 有隣堂本部と館長・副館長による職員の評価とヒアリングを行い、問題の解決を図り、モチベーションの向上につなげました。
- 職員会議を毎週火曜日に 45 分間開催し、職員間で情報の共有を図るとともに、課題については解決策を討議しました(令和3年度開催数 46 回)。
- 建築物・建築設備ともに令和3年度山内図書館建築・設備保守管理表に基づき点検を実施しました(別紙3)。積極的な保守管理を行い、異常が発生する前の予防保全を行いました。
- 施設管理者点検の点検結果に基づき優先順位をつけ、計画的な修繕を実施しました。

#### ウ 職員育成

##### (ア) スタッフへの教育・研修の実施による能力向上・意欲の維持向上

- 職員が中央図書館、県立図書館、神奈川県図書館協会主催の研修やその他の研修に 26 回参加し、それぞれの専門性を向上させました。オンライン形式による研修へも積極的に参加し、従来参加する機会が少なかった分野の研修へ参加しました。
- 研修に参加した後は、必ず資料を添付した報告書を作成し、これを回覧することにより、職員全員への情報共有を図りました。研修によっては、職員会議において受講者が研修内容を職員に伝え情報共有を図りました。
- 職員向けに商用データベースの使い方研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症に影響により、講師との調整ができず中止としました。
- 職員およびアルバイトスタッフ全員を対象とした内部研修を実施しました。
  - ①接遇 ②コンプライアンス ③危機管理 ④防災(2回) ⑤個人情報保護 ⑥人権危機管理研修は、5月に青葉警察署より講師を招き、カウンターに不審者がきた場合の対応を実演を交えながら教えてもらいました。防災研修は、同じ建物内の山内地区センターと

合同で2回行いました。山内地区センターが帰宅困難者受け入れ施設となっていることから、6月に建物全体の災害時運用について青葉区役所の講師の話を聞きました。3月に AED の使い方を学びました。人権研修は、横浜市の職員を講師を招き、人権の基本事項について学びました。

- アルバイトスタッフを対象に、簡易修理講座を開催しました。
- 職員およびアルバイトスタッフを対象にテスト形式による情報セキュリティ研修を行いました。

## エ 財務

### (ア) 予算内の経費執行と効率的な管理

- 予算内に経費を抑え、効率的に管理しました。

### (イ) その他

- 山内堂は、新型コロナウイルス感染症予防に伴う休館や事業の中止による客数減があったものの、書籍販売を伸ばし目標の 177 パーセントの売上となりました。
- 新型コロナウイルス感染症予防に伴う休館等により縮減された費用(光熱水費、人件費等)を活用し、実施可能な修繕や LED 交換工事を行い、安全で快適な環境づくりに努めました。

#### 4. 決算

##### 令和3年度 「横浜市山内図書館」 収支予算報告書

収入の部						(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	180,217,000		180,217,000	180,217,000	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0	0	0	
自主事業収入	80,000		80,000	141,632	△ 61,632	
雑入	360,000		360,000	464,238	△ 104,238	
自動販売機手数料等	360,000		360,000	464,238	△ 104,238	
その他（ ）			0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>180,657,000</b>		<b>180,627,000</b>	<b>180,822,870</b>	<b>△ 165,870</b>	
支出の部						
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>103,402,300</b>		<b>103,402,300</b>	<b>102,463,466</b>	<b>938,834</b>	
給与・賃金	87,532,500		87,532,500	91,116,238	△ 3,583,738	
社会保険料	9,174,800		9,174,800	7,181,356	1,993,444	
通勤手当	5,936,000		5,936,000	3,788,872	2,147,128	
健康診断費	377,000		377,000	377,000	0	
福利厚生費	382,000		382,000	0	382,000	
<b>事務費</b>	<b>4,495,000</b>		<b>4,495,000</b>	<b>5,496,223</b>	<b>△ 1,001,223</b>	
旅費	200,000		200,000	52,048	147,952	
消耗品費	1,500,000		1,500,000	2,532,067	△ 1,032,067	感染防止用備品等
通信費	500,000		500,000	523,908	△ 23,908	
使用料及び賃借料	15,000		15,000	12,698	2,302	
備品購入費	240,000		240,000	64,794	175,206	
雑誌・新聞購入費	1,620,000		1,620,000	1,678,043	△ 58,043	
施設賠償責任保険	120,000		120,000	117,960	2,040	
職員等研修費	20,000		20,000	0	20,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	100,000		100,000	0	100,000	
手数料（ごみ処理費）	180,000		180,000	514,705	△ 334,705	産業廃棄物処理
<b>事業費</b>	<b>5,518,400</b>		<b>5,518,400</b>	<b>4,712,673</b>	<b>805,727</b>	
自主事業費	4,700,000		4,700,000	3,894,273	805,727	
自主事業費（図書取次サービス）	818,400		818,400	818,400	0	
<b>管理費</b>	<b>35,891,300</b>		<b>35,891,300</b>	<b>33,887,139</b>	<b>2,004,161</b>	
光熱水費	18,700,000		18,700,000	16,663,039	2,036,961	
電気料金	11,000,000		11,000,000	9,433,939	1,566,061	
ガス料金	3,500,000		3,500,000	3,555,604	△ 55,604	
水道料金	4,200,000		4,200,000	3,673,496	526,504	
清掃費	5,247,000		5,247,000	5,247,000	0	
修繕費	1,500,000		1,500,000	2,225,300	△ 725,300	自動水洗化工事・中性性能フィルタ交換
機械警備費	880,000		880,000	880,000	0	
設備保全費	6,614,300		6,614,300	6,614,300	0	
空調衛生設備保守	1,991,000		1,991,000	1,991,000	0	
消防設備保守	396,000		396,000	396,000	0	
電気設備保守	1,221,000		1,221,000	1,221,000	0	
害虫駆除清掃保守	126,500		126,500	126,500	0	
建築設備保全費	2,186,800		2,186,800	2,186,800	0	
その他保全費	693,000		693,000	693,000	0	
共益費	2,950,000		2,950,000	2,257,500	692,500	
公租公課	9,350,000		9,350,000	9,870,000	△ 520,000	
事務経費	22,000,000		22,000,000	24,000,000	△ 2,000,000	
<b>支出合計</b>	<b>180,657,000</b>	<b>0</b>	<b>180,657,000</b>	<b>180,429,501</b>	<b>227,499</b>	
差引	0		0	393,369	△ 393,369	